

しらゆりだより

2015. 4. 6

ご進級おめでとうございます。

あちこちの公園の桜の花が満開になり、園庭の赤やピンク、黄色のチューリップも満開。

今まさに春爛漫の季節となりました。

今日から平成27年度がスタートしました。子ども達も3月末お別れした先生に対してさびしい思いをしていましたが、4月新しい担任の先生や友だちとの出会いに胸をふくらませて元気よく登園してきました。「今日、あの先生はどんな話をしてくれるのかな?」「どんな楽しいことがあるのかな?」そんなワクワクした幼稚園にしていきたいと思っています。

今年の真砂白百合幼稚園は、年少32名、年中43名、年長53名計128名6クラス、職員16名(非常勤含)でスタートしました。

保護者と教師の連携を密にして「真砂白百合幼稚園で良かった。」と言ってもらえるよう頑張りますので、何卒よろしくお願いたします。

誕生会について

毎月、お誕生会を開いています。その際、学年ごとに歌を歌ったり、教師達による出し物を見たりします。

誕生児には誕生絵本のプレゼントもあります。誕生児の保護者の方は、その様子をご参観ください。

その後、園長を囲んでお話を予定しています。

誕生会は10:00からホールで行いますので、時間までにいらしてください。



事務室からのお願い

保育料は、毎月12日に銀行より引き落としになります。

消費税引き上げに伴い、引き落とし手数料が、51円になります。ご注意ください。

引き落としが出来なかった場合は、幼稚園事務室から連絡させていただきます。

大切な朝ごはん!

「目覚ましごはん」といわれ、朝ごはんを食べると、頭と体、そして腸にも目覚めのスイッチが入るのです。温かいみそ汁の香りや目玉焼き、サラダの色は「おいしそう」と五感を働かせて脳を刺激します。パンやごはんは集中力や記憶力を高め、おかずとなる卵、肉、大豆製品は、体温と活力を高めて快便を促します。そしてなにより、家族と一緒に食べることが大切。朝の家族の笑顔が、一番の栄養になるのです。元氣もりもりになる朝ごはん、規則正しい食生活を心がけましょう。

通園バスについて

通園バスは登園・降園時に正門前に入り、停車して園児の乗降をいたします。

正門前は**駐停車、ご遠慮**ください。

また、危険ですので、付近で立ち話等、しないようご協力をお願いします。

※通園バス以外の**登降園は南門(三角公園)から出入り**をお願いいたします。

27年度 4月の予定

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11
(休)	始業式(午前保育)バス登園時のみ運行(新時刻表)				入園式(年中・長は休み)	(休)
12	13	14	15	16	17	18
(休)	年中・長弁当・希望給食預り保育 開始	年中・長給食開始 体操開始		年長保育参観・懇談会	年中保育参観・懇談会	(休)
19	20	21	22	23	24	25
(休)	年少弁当開始	年少給食開始(親子給食) 保育参観・懇談会	誕生会 午前保育 職員研修	なかよくなるう会		(休)
26	27	28	29	30	31	
(休)	父母の会総会 災害引渡し訓練 午前保育		(休) 昭和の日			(休)

お知らせ

★4月の行事予定は変則的になっております。ご自分の学年の予定をよく注意してご覧になり、間違いの無いようお願いいたします。

※ 各学年……午前保育の期間は11:30降園

※ 年長・中組……13日(月)から2:00降園

※ 年少組……20日(月)から2:00降園

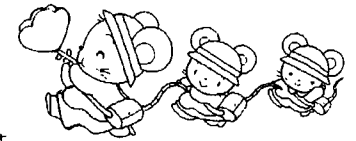
※ 年少親子給食「21日(火)」は年少のみ食後、親子で降園です。

※ 年少組の預り保育は5月21日(木)から開始いたしますが、5月中は3:30迄をお願いいたします。

※ 引き渡し訓練(27日)の際は、全園児11:30にお迎えをお願い致します。

※ 園からのお願いを別紙にて配布いたしますので、もう一度、年度初めに目を通してください。お願い致します。

※ 22日(木)・27日(月)……預かり保育はありません。



★終了式にお配りした年間行事予定は、年度末に作成したものです。

保育の都合で変更する場合があります。その際は、園便りでお知らせいたします。

月間絵本について

年少「年少組ごものとも」

年中「年中組ごものとも」

年長「かがくのとも」

幼稚園で毎月お配りしている月間絵本ですが、一度読んで終わりにしていませんか?

何回読めばいいというものではなく、子どもたちは毎日、読んでもらいたいのです。子どもは毎日同じ絵本でも決して飽きないのです。年中少は毎週、貸出しをしておりますが、同じ絵本を何度も借りることがあります。子どもたちは、常に体験を通して学び、成長します。そしてゆっくりと体験したことを身につけていきます。

絵本も同様で、同じ絵本を繰り返し読むことにより、ゆっくり、じっくり絵本の中に入り込み、想像の世界で主人公と一緒に楽しむのです。この体験が想像力や情操を培っていくのです。この想像力は考える力となり、やがては物事を正しく判断出来る力が育まれていくでしょう。